

平成22年度局配分枠予算について

消 防 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

安心都市京都への歩みを停滞させることなく、より一層発展させるため、期日（平成23年5月末まで）が迫っている住宅用火災警報器の設置促進、救急資器材の高度化など、逼迫した財政状況の中、市民の安心安全に直結する事業について、選択と集中による予算配分に重点を置いた。

また、最小限の経費で最大限の効果が得られるよう、消防職団員の創意工夫はもとより、京都ならではの市民力や企業の力を活用する事業構築を行った。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

新たな住宅用火災警報器設置促進事業	3,500千円
「火の用心」でDO YOU KYOTO?	3,500千円
防災施策評価手法の確立	3,600千円

<充実事業>

消防自動車整備	全体事業費 353,700
（充実分：生体情報モニター（救急隊用12誘導対応心電計）整備	10,920
地域防災計画の推進	全体事業費 40,900
（充実分：地域に応じた迅速な避難体制の構築（防災マップ改訂等）	16,800